

令和3年度 小布施町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証について

計画書 No	事業名	事業概要	事業始期	事業終期	総事業費 (千円)	臨時交付金 (千円)	事業実績	効果・検証等
1	地域BWA導入事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン授業やテレワークへの対応が必要となる中で、公共施設をはじめ通信環境がない家庭へのネットワーク環境を整備する。	令和3年8月	令和3年10月	15,000	15,000	地域情報通信網整備補助金 15,000千円	町内の通信インフラを整備することで、新しい生活様式に対応したオンライン授業やテレワークへの対応が可能となった。
2	オンライン会議システム・モニター等の整備事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンライン会議の推奨が進む中、役場会議スペースにおけるモニターとカメラの導入し、業務のリモート化を進める。	令和3年7月	令和3年8月	192	192	オンラインモニター2台導入 164千円 ウェブカメラ2台導入 28千円	ウェブ説明会や会議等が同時に複数開催される場合にも対応できるようになった。
3	基幹避難所用投光器導入	令和元年度に台風による河川越水の災害の被害を受けた当町において、令和3年度秋に台風による同様の災害が発生した場合、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営が困難である。このことを改善するため、3密状態回避を目的に新規に開設する避難所へ避難者を安全に誘導するため、LEDバルーン投光器を増やす。	令和3年8月	令和3年9月	2,310	2,310	LEDバルーン型投光器5台導入 2,310千円	3密を回避するために、避難所を増やすこととなった場合にも対応できるよう、LEDバルーン投光器を購入し、避難所の環境を整えることができた。
4	避難行動要支援者名簿システム導入	新型コロナウイルス感染症により、人を介しての要支援者の確認が難しい状況にあるため、即時に対応ができるよう「避難行動要支援者名簿」について、既存のREAMSシステムを活用して名簿作成を自動化させ、個別支援計画の作成可能なシステムの導入を行う。	令和3年10月	令和3年12月	523	523	避難行動要支援者名簿システム導入 523千円	エクセルにて管理を行っていた「避難行動要支援者名簿」について、システムを導入したことで人を介しての確認がなくなり、感染対策とともに事務作業にかかる利便性の向上及び業務の効率化を図ることができた。
5	町避難所感染症予防対策費	避難場所での物を介しての感染を防ぐためウイルスの不活性化効果が期待できる抗菌量に入れ替えるとともに、飛沫によるウイルス蔓延を防ぐため換気機能を備えた空調設備を設置し、感染防止を図る。	令和3年9月	令和4年1月	9,164	9,164	避難所空調設備設置 6,974千円 避難所置入れ替え 2,190千円	コロナ禍において、感染対策を考慮した安全な避難場所とすることができた。
6	GIGAスクール構想推進事業	新型コロナウイルス感染症による学校の緊急時や日常的学習の場においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を早急に実現する。	令和3年11月	令和4年1月	5,374	5,374	eライブラリーソフト使用料 2,954千円 フィルタリングソフト使用料 2,420千円	新型コロナウイルス感染症拡大により、非対面での授業となった場合でも授業が行えるように環境を整えることができた。
7	感染症予防対策役場環境整備費	役場庁舎への来訪者向けに新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための自動検温器を設置する。	令和3年5月	令和3年5月	198	198	役場庁舎内検温器設置 198千円	自動検温器を設置することで新型コロナウイルス感染症対策ができた。
8	RPA実証事業	新型コロナウイルス感染症予防のためのテレワークを推進する観点から、職員間の業務中の密を避けるなど事務作業の効率化を図るため、税務分野でのRPA実証事業を実施し、定形業務へのロボット活用に取り組む。	令和3年4月	令和4年3月	1,595	1,595	RPAサポート・プログラム作成委託料 330千円 テレワークシステムライセンス使用料 1,265千円	RPA及びテレワークシステムを導入することにより、コロナ禍においてもテレワークでの業務ができるよう環境を整えることができた。

令和3年度 小布施町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証について

計画書 No	事業名	事業概要	事業始期	事業終期	総事業費 (千円)	臨時交付金 (千円)	事業実績	効果・検証等
9	新型コロナウイルス関連事業所向け支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受け売上が減少し、経営に苦慮している飲食店等に対し、感染拡大予防対策のための環境や施設整備等の支援を行うことで経営の継続と向上を図る。	令和3年8月	令和4年1月	6,811	6,811	環境整備補助件数 79件 環境整備補助総額 6,811千円	町内事業者の事業継続の下支えを図ることができた。
10	家賃補助事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受け売上が減少し、経営に苦慮している店舗に対し店舗等の賃借料の補助を行うことで経営の継続と向上を図る。	令和3年8月	令和3年10月	2,833	2,833	賃借料補助件数 33件 賃借料補助総額 2,833千円	町内事業者の事業継続の下支えを図ることができた。
11	賑わい創出事業	新型コロナウイルス感染拡大により町に訪れるお客さんが激減している中で、秋の行楽期に向けた誘客促進、また令和4年に行われる善光寺御開帳に向けての誘客促進事業をマスコミ・テレビなどを活用して展開し、町の賑わいと町経済の活性化を図る。	令和3年9月	令和4年3月	4,930	4,905	PR放送委託料、町紹介VTR作成委託料等 4,930千円	PRにより町内事業者の利用促進が図られ、事業の継続を支援することができた。
12	プレミアム商品券事業 (第3弾)	新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている事業者を応援し、地域における消費を促進することを目的にプレミアム商品券を発行する。	令和3年8月	令和4年2月	29,413	23,890	商品券発行総額 27,500千円	町内における消費喚起につながり、事業者支援ができた。また町民の生活の下支えを図ることができた
13	防災環境整備事業	令和元年度に台風による河川越水の災害の被害を受けた当町において、令和2年度秋に台風による同様の災害が発生した場合、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営が困難であり、3密状態により感染が拡大する恐れがあることから、緊急的に川沿いに土のうを設置し、公共施設での感染機会を削減する。	令和3年4月	令和3年6月	31,636	22,289	堤防土のう設置工事 31,636千円	災害緊急時の対策として、避難所が運営できるよう河川堤防への土のう設置による水防強化を図り、避難所運営における感染拡大リスクの予防を図ることができた。
14	鉄道運行支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大により鉄道の利用が大幅に減少し、経営状況が厳しい運業者が休業することなく運航便を確保していることなどから、支援金を交付する。	令和3年9月	令和4年2月	1,324	1,324	地域鉄道安全性向上事業補助金 1,324千円	鉄道事業者への事業継続の支援を行うことができ、安全運行の確保を図ることができた。
15	押し店商品券事業	新型コロナウイルス感染症拡大により売り上げ減少など大きな影響を受けている飲食店などの事業者を応援し、地域における消費を促進することを目的に押し店商品券を発行する。	令和3年10月	令和4年3月	20,612	10,212	観光協会委託料 19,809千円	町内における消費喚起につながり、事業者支援ができた。また町民の生活の下支えを図ることができた